

府運陸交第346号
令和6年5月24日
一部改正 府運陸交第481号
令和6年9月2日

沖縄県企画部長 殿
各市町村長 殿

内閣府沖縄総合事務局
運 輸 部 長

法人タクシー事業者による交通サービスを補完するための地域の自家用車・一般ドライバーを活用した有償運送の許可に係るタクシーが不足する地域、時期及び時間帯の自治体からの申し出について

「法人タクシー事業者による交通サービスを補完するための地域の自家用車・一般ドライバーを活用した有償運送の許可に関する取扱い（令和6年3月29日、国自安第181号、国自旅第431号、国自整第282号）」及び「自家用車活用事業の実施に向けた不足車両数の算出方法と意向調査の実施について（令和6年3月29日旅客課長事務連絡）」（以下、事務連絡という。）における、営業区域内の自治体が、特定の時期・曜日及び時間帯にタクシー車両数が不足しているとして陸運事務所へ申し出る場合の取扱いについては、下記のとおりといたします。

なお、本事業については、その実施状況等を注視し、また関係自治体と協議しながら、公共交通の持続可能性を損なわない形で地域の必要に応じた移動サービスが提供できるよう地域、時期・曜日、時間帯等の見直しと最適化を進めていくことを予定していますので、併せて了知願います。

記

特定の地域での特別な事由により、特定の時期・曜日及び時間帯においてタクシー車両数が不足することが予見された場合には、できるだけ早い段階において（少なくとも実施の1ヶ月前までに）、別紙の例を参考に、特別な事由、タクシー車両が不足する特定の地域、時期・曜日時間帯並びに不足車両数を記載した書面を作成し、営業区域内の自治体から陸運事務所に対し、書面にて申し出ることとします。【別紙参照】。

申し出があった場合には、記載された時期・曜日、時間帯、不足車両数について、その営業区域内の各事業者に対し事業の実施意向を調査し、各社の意向調査終了後10日後を目処に、調査の結果に基づき、使用車両数を決定し、各タクシー事業者及び当該自治体に通知することとします。

この場合において、クルーズ船の寄港、大型の催事、スポーツイベントの実施などをはじめとして、通年であらかじめ計画が定まっている場合にあっては、それらの計画を踏まえて申し出ができるものとし、各タクシー事業者に対し実施する意向調査の結果に基づき、各社の使用車両数を決定し、各タクシー事業者及び当該自治体に通知することとします。

なお、当該イベントの開催に際して、交通規制が実施される場合においては、イベント主催者又は開催地周辺自治体が管轄の警察署と調整する際に、開催地周辺において自家用車活用事業の活用が行われる旨もあわせて情報共有し了知いただきますようお願いいたします。

【個別のイベント等に対応する場合】

＜申し出記載例＞

過去には、〇月〇日、〇〇人乗りのクルーズ船が〇〇港に寄港した際、乗客〇〇〇名のうち、〇〇〇名は乗合バス、〇〇〇名は貸切バス、〇〇〇名はタクシーを利用したが、タクシー利用者数に対しタクシーの配車台数が少なく最大〇〇分の乗車待ちが発生した。

別紙のとおり、乗客〇名を乗せたクルーズ船〇〇（船社〇〇）が、〇月〇日、〇〇港に〇時に入港することが計画されている。

公共交通機関の利用を促し、貸切バス〇〇台程度を活用し最寄りの地点までの輸送を手配してもなお、その輸送需要を賄うことが一時的に困難となることが予見される状況にある。

具体的には、当該クルーズ船が〇〇港に入港する日の〇時から〇時まで間、〇〇地域において〇〇台程度のタクシーが不足する見通し。

ついては、法人タクシー事業者による交通サービスを補完するための地域の自家用車・一般ドライバーを活用した有償運送の許可が必要であることを申し出ます。

なお、天候不良などを理由にイベントの開催日時やクルーズ船の入港日時が変更となった場合については（一社）沖縄県ハイヤー・タクシー協会において日時の確認及び事業者への変更の連絡を行うこととする。

※イベント等の概要、スケジュールなどの情報を申し出の別紙として添付

＜過去の実例や留意すべき事項の記載例＞

例：〇月〇日、〇〇人乗りのクルーズ船が〇〇港に寄港した際、乗客〇〇〇名のうち、〇〇〇名は乗合バス、〇〇〇名は貸切バス、〇〇〇名はタクシーを利用したが、タクシー利用者数に対しタクシーの配車台数が少なく最大〇〇分の乗車待ちが発生した。

＜特別な事由の記載例＞

例１：乗客〇名を乗せたクルーズ船〇〇（船社〇〇）が、〇月〇日、〇〇港に〇時に入港することが計画されている。公共交通機関の利用を促し、貸切バス〇〇台程度を活用し最寄りの地点までの輸送を手配してもなお、その輸送需要を賄うことが一時的に困難となる見通し。

例２：〇月〇日、〇〇地域において、〇〇祭り（〇〇人規模）の開催と、〇〇人乗りのクルーズ船寄港が重なる予定。催事の参加者及びクルーズ船の乗客に対し、公共交通機関の利用を促し、貸切バス〇〇台程度を活用し最寄りの地点までの輸送を手配する予定だが、それでもなお、その輸送需要を賄うことが一時的に困難となる見通し。

＜特定の地域、時期及び時間帯並びに不足車両数の記載例＞

例：今次クルーズ船が〇〇港に入港する日の〇時から〇時まで間、〇〇地域において〇〇台程度のタクシーが不足する見通し。

なお、天候不良などを理由にイベントの開催日時やクルーズ船の入港日時が変更となった場合については（一社）沖縄県ハイヤー・タクシー協会において日時の確認及び事業者への変更の連絡を行うこととする。

【別紙算出根拠】

(算出根拠の例)

イベント動員数 5,000 人×開催地域におけるタクシー分担率 3% (※1)－開催地域におけるタクシー稼働可能車両数 120 両 (※2)＝見込まれる不足車両数 30 両

※1 分担率はイベント毎、地域毎に算出可能な場合は当該分担率を使用し、困難な場合は、国土交通省が交通政策白書において公表している全国の平均分担率を使用する。

(参考：令和6年度交通政策白書：

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/content/001748051.pdf>)

※2 開催地域におけるタクシー稼働可能車両数は、イベント主催者が開催地域におけるタクシー事業者と調整の上算出した数値を記載する。

【対応するイベント等の通年での計画が判明している場合】

<申し出記載例>

過去には、〇月〇日、〇〇人乗りのクルーズ船が〇〇港に寄港した際、乗客〇〇〇名のうち、〇〇〇名は乗合バス、〇〇〇名は貸切バス、〇〇〇名はタクシーを利用したが、タクシー利用者数に対しタクシーの配車台数が少なく最大〇〇分の乗車待ちが発生した。

別紙のスケジュールのとおり、年間を通じたクルーズ船の入港、大型の催事及びスポーツイベントが予定されており、都度、公共交通機関の利用を促し、シャトルバス運行等の対応を行うこととしているものの、最大〇〇台程度のタクシーが不足する見通し。

ついては、法人タクシー事業者による交通サービスを補完するための地域の自家用車・一般ドライバーを活用した有償運送の許可が必要であることを申し出る。

なお、天候不良などを理由にイベントの開催日時やクルーズ船の入港日時が変更となった場合については（一社）沖縄県ハイヤー・タクシー協会において日時の確認及び事業者への変更の連絡をおこなうこととする。

※イベント等の概要、スケジュールなどの情報を申し出の別紙として添付

<過去の実例や留意すべき事項記載例>

例：〇月〇日、〇〇人乗りのクルーズ船が〇〇港に寄港した際、乗客〇〇〇名のうち、〇〇〇名は乗合バス、〇〇〇名は貸切バス、〇〇〇名はタクシーを利用したが、タクシー利用者数に対しタクシーの配車台数が少なく最大〇〇分の乗車待ちが発生した。

<特定の地域、時期及び時間帯並びに不足車両数記載例>

例：年間を通じたクルーズ船の入港、大型の催事及びスポーツイベントが予定されていることから、別紙スケジュールに基づき、法人タクシー事業者による交通サービスを補完するための地域の自家用車・一般ドライバーを活用した有償運送が必要であり、最大〇〇台程度のタクシーが不足する見通し。

なお、天候不良などを理由にイベントの開催日時やクルーズ船の入港日時が変更となった場合については（一社）沖縄県ハイヤー・タクシー協会において日時の確認及び事業者への変更の連絡をおこなうこととする。